

「21世紀に吉田寮を活かす元寮生の会」に関する呼びかけ

呼びかけ人 (2017年10月21日現在)

代表理事 奈倉 道隆 (1960年卒寮)
副代表理事 広原 盛明 (1961年卒寮)、稲庭 篤 (1991年卒寮)
理事 中尾 芳治 (1959年卒寮)、亀岡 哲也 (1988年卒寮)
盛田 良治 (1991年卒寮)
冨岡 勝 (1989年卒寮、事務局長兼務)

1. 会をつくる目的

「21世紀に吉田寮を活かす」ことを目指し、幅広い年代にわたる元寮生・現寮生の連絡・交流を行いながら、21世紀における吉田寮の多方面にわたる価値などを大学内外にアピールしていくための会を作りたいと考えています。

吉田寮での寮生活を経験した幅広い年代の元寮生が、幅広い年代での意見交流をおこないながら、必要な時に「吉田寮の100年を超える建造物としての価値」「各時代の学生によって生きられた歴史的空間としての価値」「21世紀の現代における吉田寮の意義」などについて発言することは、大学内外に「21世紀に吉田寮を活かす」ための理解をひろげる上で、一つの役割を果たすことにつながるのではないのでしょうか。

2. 会の名称

「21世紀に吉田寮を活かす元寮生の会」(仮称)

3. 活動

21世紀に京都大学吉田寮を活かしていくための活動

① 吉田寮に関する情報交換・交流

例えば、公開連続セミナー「21世紀の京都大学吉田寮を考える」などに合わせて「21世紀に京都大学吉田寮を活かしていくための元寮生のつどい」などを開催するなど、交流していきたいと考えています。

連絡・交流については、既存の各年代のネットワークとの連携をとっていきたいと考えています。

② 必要に応じて大学内外に21世紀の現代における吉田寮の様々な価値を大学内外にアピールしていく活動もしていきたいと考えています。

③ その他、必要と思われる活動をおこなっていきます。

4. 会組織の構想

今のところ以下のように考えています。設立総会で会則として決定する予定です。

正会員 京都大学吉田寮の元寮生で入会を希望する者

賛助会員 吉田寮の現役寮生で入会を希望する者

役員

代表理事

副代表理事 1～3名

理事 若干名

事務局長

会費 正会員からは入会時に会費 1000 円を 1 回だけ集める。

活動協力費及び寄付金 正会員に任意の活動協力費（1 年間 1000 円が目安）
を呼びかける。また、本会の主旨に賛同する個人及び法人より寄付
金を受け入れることができる。

事務局所在地

東大阪市小若江 3-4-1 近畿大学教職教育部 富岡勝研究室内